

町のにぎわいに一役買います

益城中央被災市街地復興土地区画整理地内に仮設店舗

益城中央被災市街地復興土地区画整理事業に伴い、一時的に現在の場所で営業できない事業者のための仮設店舗が役場庁舎跡地近くに設置され、2月8日、入居者に鍵が引き渡されました。

同仮設店舗は、県と町が共同で設置したもので、5つの店舗と10台分の駐車場が整備されています。

最初に入居する整体院「光と癒しの施術本舗」の徳光豊代表は、「やっと再スタートできる。私の治療が皆さんの力になればうれしい」と営業再開の喜びを語りました。



⑤仮設店舗の位置 ⑥西村町長と共に鍵のレプリカを掲げる徳光さん



左から熊本県賃貸住宅経営者協会かかくちゆういちろう川口雄一郎代表理事、西村町長、西川代表取締役

町営住宅管理運営に民間の力を活用

益城町営住宅等の管理運営に関する協定締結式

町は2月8日、(株)キューネットと(一社)熊本県賃貸住宅経営者協会から成る益城町営住宅管理共同企業体と「益城町営住宅等の管理運営に関する協定」を結びました。

これは、災害公営住宅の完成で1,000戸以上となった町営住宅の管理運営に、民間事業者が持っているノウハウを活用するため、4月から業務委託するものです。

協定に際し、同企業体の代表事業者である(株)キューネットの西川尚希代表取締役は、「これまでの経験を生かし、適切な管理を行っていく」と決意を述べました

「町を元気にしたい」という思い

熊本地震復興祭チャリティー公演のチケット贈呈

2月13日、NPO法人九州ラーメン党はまだたつろうの濱田龍郎理事長が、仮設住宅で暮らす渡邊勢以子さんに公演の無料招待チケットを贈呈しました。

同法人は3月27日、町総合体育館に劇団を招き、「熊本地震復興祭チャリティー公演」を開催します。その公演に、仮設住宅や災害公営住宅で暮らす町民100人を招待。代表して渡邊さんにチケットを贈りました。

濱田理事長は、「町民の皆さんに元気になってほしい」と思いを語りました。



渡邊さん(左)にチケットを贈る濱田理事長(右)

Pickup Plus+
今月のプラス



右が熊本地方法務局久保朝則局長

町の登記所備付地図作成業務を行う熊本地方法務局の現地事務所が2月に開所しました。同法務局では、4月から広崎地区の一部で現地立ち会い作業を始めます。対象者には3月中旬から順次、通知を発送しますので、ご協力をお願いします。また、現地事務所では、対象者からの地図作成作業に関する相談も受け付けますので、お気軽にご活用ください。